玄武書房「出版企画書」

玄武書房の企画書で求められるものは、他の出版社とは異なります。

一般的には、プレゼン能力や文章能力を問われることが多いです。

なぜなら、文才のある著者を探した方が「楽」だからです。

さらには、著者のブランド力や知名度などをチェックされます。

この企画書で見ていくのは『著者の想い』と『人柄』になります。

氏名：　　　　　　年齢：　　歳　現在の職業：　　　　　　居住地：　　県

※もし過去に犯罪歴などがあれば事前に申告（下記の備考欄）ください。今回の書籍の内容に含まれる場合には不要です。万一、事前申告無しで後から判明した場合には出版を停止することがございます。

各項目の行数は気にせず、必要なことを必要なだけ（思いついただけ）書き込んでください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．タイトル（仮） | ご自身で付けたタイトルにこだわらないでください。市場調査、SEO対策、Amazon対策を経て決定するので、ここで考えたタイトルは90％以上の割合で使えません。あくまで、企画書上のタイトルだと認識しておいてください。 |
|  |
| ２．サブタイトル | ふと思いついたキャッチーな言葉をいくつでも構いません。 |
|  |
| ３．著者名 | ペンネームやビジネスネームでも構いません。 |
|  |
| ４．著者プロフィール | この本であつかうジャンルの専門家として説得力があるものをお書きください。 |
|  |
| ５．著者の略歴 | この本であつかうジャンル以外の経歴をお書きください。その経験が「本の売り」として役立つことがあります。 |
|  |
| ６．出版の目的 | 素直に出版したいと思った理由をお書きください。 |
|  |
| ７．本の売り | あなただから書ける「本の売り」を考えてみてください。 |
|  |
| ８．企画の意図（重要なポイント） | この本で伝えたいことを箇条書きで良いのでお書きください。 |
|  |
| ９．読者ターゲット | 思いつくなかで具体的な読者層をお書きください。（年齢、性別、職業、趣味、嗜好、思考など） |
|  |
| 10．類書との差別化（重要なポイント） | ほとんどの書籍には同じようなものがあります。現状を調べることで、自分の強み（本の売り）を見つけることができます。 |
|  |

【備考欄】その他、質問など何かあれば下記に記入して下さい。